

導入推進×人材育成の両輪で、山梨をAI先進県に

「新たな挑戦」とその実現を支援する、「新事業共創プラットフォーム TRY!YAMANASHI!」。同事業をきっかけに山梨でAIを活用した挑戦を続ける(株) First AIの取締役COO 山内悠真氏に、ご自身のビジョンについて伺いました。

地方格差を解消しながら、 山梨のよさを残したい

元々起業精神を持っていたという山内氏が最初に立ち上げたのは、オンラインの学習塾でした。「山梨県から京大に進んだ同級生は、自分のほかに一人。都内に比べ、京大受験のための学習環境に格差を感じていました。コロナでオンラインツールが普及したこともあり、山梨県の学生と京大をつなげる塾を始めたのです」。

その後、アメリカ留学中にFirst AIを創業。県内企業へのAI導入により、人材不足を解消するほか、県内の大学生を「生成AIエンジニア」として育成する活動も行っています。「山梨県内で活動する理由は大きく3つあります。まず、地元山梨への貢献。そして、都内と地方の格差をなくすという目標。最後に、競合が少ないというビジネス的な観点です。AIで全てを効率化することだけが人間の幸せではないと私は思っています。逆説的ですが、最先端のAIの活用で、地方のよさを残していくたいと考えています」。



山内悠真氏

「想い」を応援してくれる 山梨は挑戦に向いている

TRY!YAMANASHI! の下で、多くのビジネスチャンスを得たという山内氏。「山梨県は、ビジネスの『場の提供』だけでなく、マッチングや支援が手厚く、挑戦に向いている場所。企業の方も、経済合理性だけでなくビジョンや共感を重視してくれる印象です。」

今後は、山梨県内の企業が今までできなかったことを、AIを使って実現し、人材不足を解消したいと言います。「次世代のキーパーソンを育成し、将来的に日本全体で企業や若い世代の活躍をアシストしていきたいです」。

詳しい記事は **HIGH
QUALITY
YAMANASHI**
こちらから→



山内 悠真 (やまうち ゆうま) 氏
株式会社 First AI
取締役 COO

2002年生まれ、山梨県昭和町出身。2025年3月、京都大学工学部卒。京都大学在籍中に教育／広告系の会社を起業。三菱総合研究所との共同研究中に株式会社KOKUAに出会い、AI事業に参画する。アメリカUniversity of Florida留学中に、京大の同期生とAIベンチャー企業First AIを共同創業。大手企業から自治体、NPO法人を含め、30社以上のAI導入支援に携わる。

山梨県の様々な魅力をお届けする県公式のブランド情報発信サイト
『ハイクオリティやまなし』は[こちら](https://hq.pref.yamanashi.jp/)
<https://hq.pref.yamanashi.jp/>



【主担当課】山梨県 新価値・地域創造推進局 新事業チャレンジ推進課

(TEL 055-223-1514)

[発行] 山梨県地域ブランド推進CFT (クロス・ファンクショナル・チーム ※)
(事務局) 山梨県 高度政策推進局 地域ブランドグループ TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます